



たきかわCS通信

滝川教育委員会 教育総務課 令和元年 7月 16 日発行

— 第 4 号 —

～学校支援地域本部事業紹介～

【実践例紹介】

滝川第一小学校 5年生
西小学校 5年生



(地域の企業所, 地域ボランティアの協力)

一束一束に心を込めて 稲作体験学習!

今回は、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育くめるよう「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み、「コミュニティ・スクール」の実践例を紹介します。

5月22日(水)に、東滝川にあります「山岸 穰様圃場(旧東栄小学校裏)」のご協力で、J Aたきかわ職員の皆様と地域ボランティアの内野博行氏と星野明仁氏にご支援・ご協力をいただきながら、今年も滝川第一小学校と西小学校の5年生が稲作体験を実施しました。



すばらしいお天気でした!

当日は、前日の雨が嘘のようにたいへんよいお天気に恵まれました。両学校とも9時に学校を出発し、9時40分ごろから田植え作業を開始しました。

ボランティアの皆様には、子どもたちの田植えの補助として事故・けがのないよう見守っていただきました。

また、可能な限り子どもたちと一緒に水田に入っていたきながら、植え付けのゆるい箇所の修正と指導についても併せてお願いしました。

子どもたちは、帽子をかぶり、首にタオルを巻き、足には靴下をはき、いよいよ田んぼの中に…。

最初は、ちょっとぬるぬるした田んぼの土の感触に悲鳴を上げながら、おっかなびっくりと慎重に進んで行きました。

みんな慣れてきたね。手際よく、上手に植えられるようになってきたよ!

ずっと腰を曲げて植えるのは、つらいことだね…。



うわあああああ、はいっちゃったよ!

転ばないように、気を付けてね!



昔は全部、手作業で植えていました。大変辛い作業でしたよ。





大変だったけど、まっすぐに植えられてよかった！

終わってみると、けっこう楽しかったよ！



水で足を洗ってきれいになったね。

もう少しでおわりだ。おいしいお米ができるといいなあ。



楽しかった！
もっとやりたい！

いいよ、いいよ！みんな。あともう一息だよ。



お米ができるの、楽しみだなあ…。

俺、農家になろうかな…。



転んでしまった子もいましたが、周りの和やかな笑いで、ほのぼのとした場面になりました。昔は、裸足で泥んこになりながら遊んだ時代もありましたが、今は、そのような経験がない子どもたちですので、これも貴重な体験になったと思います。その後、子どもたちは、慣れてくると、次々と手際よく苗を植えて行くことができました。さすがです。おいしいお米ができますよ。



お米ができるまで、たいへんだね。

子どもたちは、この稲作体験学習を通して、農家の皆様が一粒一粒のお米を实らせるのに、たくさんの愛情をかけながら大切に大切に稲を育てていることやお米が簡単にできるわけではないことに気づくことができたのではないのでしょうか。

この貴重な体験にご協力をいただきました、山岸 穰様圃場の皆様、JAたきかわ職員の皆様、地域ボランティアの皆様、お忙しい中のご支援・ご協力、誠にありがとうございました。



また、滝川第一小学校と西小学校の今回担当された諸先生の皆様、たいへんお疲れさまでした！ いつも子どもたちのために、ご尽力いただきありがとうございます！